

羽島高に製氷機を 森北冷凍機が寄贈

大垣西濃信金と

業務用の冷凍・冷蔵設備などを手がける森北冷凍機(岐阜市日置江)と大垣西濃信用金庫は1日、羽島市竹鼻町梅ヶ枝町の羽島高校に製氷機を寄贈した。

発行手数料の一部を寄付に充てる同金庫のSDGs型地域貢献私募債「あしたへ」を活用。同校がこれまで保健室に置いていた家庭用冷蔵庫では製氷が間に合わず、製氷機を希望した。

成瀬公洋社長と同金庫墨俣支店の大平純也支店長が同校を訪れ、下野宗紀校長と生徒会長の3年中島一愛さん(17)に目録を手渡した。成瀬社長は「長男が羽島高校の卒業生。お世話になった学校の役に立てれば」と話し、中島さんは「熱中症やけがなどの際に活用したい」と感謝した。

(安井真由子)



製氷機を寄贈した森北冷凍機の成瀬公洋社長(左から2人目)＝羽島市竹鼻町梅ヶ枝町、羽島高校